
10 品目別調査結果 ピーマン

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識

1. 概況

357

調査結果概要（1/3）

1. 各取引段階の“量”の変化

出荷段階

- 福島県産ピーマンの作付面積と出荷量は、震災以降、減少傾向にあり、令和2年度はそれぞれ震災前の約78%の水準まで落ち込んでいる。

卸売段階

- 福島県産ピーマンは、主に首都圏で取り扱われており、少量であるが関西圏でも流通している。北海道や名古屋といった地域にはほぼ流通していない。
- 東京都中央卸売市場において、7月～10月の期間は他の時期に比べて福島県産ピーマンのシェアが増え、東京都中央卸売市場での取扱量は最大15%を占めている。

358

2. 各取引段階の“価格”の変化

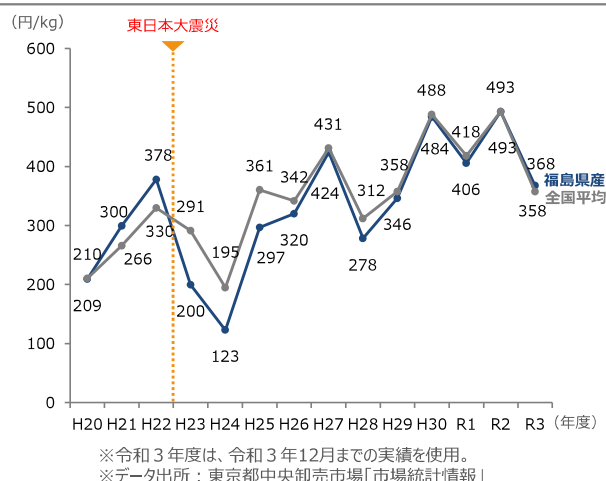
市場における 状況

- 東京都中央卸売市場における福島県産ピーマンの価格は、震災後に全国平均の価格ポジションを下回るようになった。
- 震災後4年間は、明確に競合県産よりも安い価格で推移していた。
- 平成29年度以降、全国平均に近い水準で推移しており、令和3年度は震災後初めて全国平均単価を上回った。

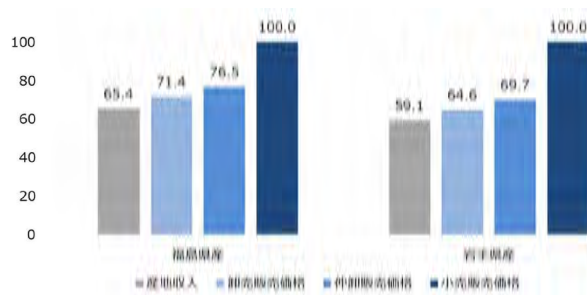
個別事例 における状況

- 首都圏で福島県産ピーマンと岩手県産ピーマンを併売する小売業に至る流通経路を対象に、流通段階ごとの取引価格を調査した。
- 岩手県産の価格形成と比較すると、小売価格に対する産地収入の比率は、福島県産がやや高い値。
- 本流通ルートは、過年度の調査では福島県産と岩手県産に明確な差は見られなかったが、近年は福島県産品の市場への入荷量の減少から、福島県産の仕入が高値になっているとのことであった。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



ピーマンの価格形成事例



※数値は小売価格を100とした指数。

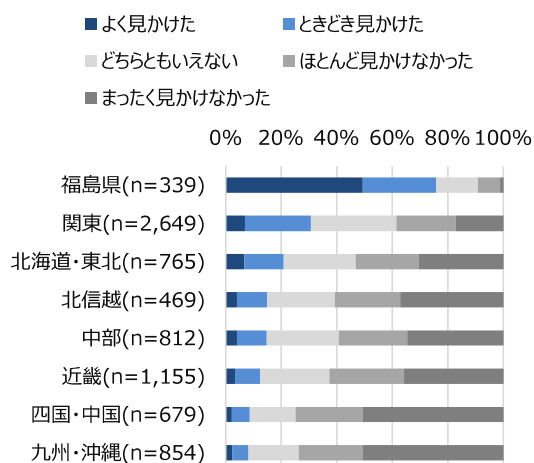
359

3. 福島県産品に対する認識

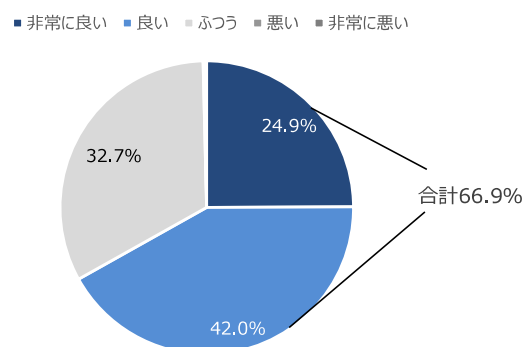
消費者への 調査

- 福島県産ピーマンをよく見かけたという人の割合は、福島県で約50%である一方、他の地域では10%に満たなかった。
 - 福島県産ピーマンを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.7%であった。
- 福島県産ピーマンの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が66.9%であった。

福島県産ピーマンを店頭で見たか



福島県産ピーマン購買者の評価（n=844）



360

2. 調査実施概要

361

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	- 統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。 - 市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。	消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握する。	- 訪問面接により取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。 - 他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。
調査対象	- 行政機関の政府統計。 - 卸売市場データ。	全国の消費者。 (11,000人)	- 袋入りのピーマン。 - 福島県産以外に他県産も扱う事業者を対象に含める。
調査内容	- 福島県産ピーマンの出荷量。 - 卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移。 - 卸売市場における取引価格の競合県産品との比較。	- 福島県産ピーマンの視認経験。 - 福島県産ピーマンの購買経験。 - ピーマン購買時の重視点。 - 福島県産ピーマンの評価。	流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。
各節との対応	各取引段階の“量”の変化 各取引段階の“価格”の変化	福島県産品に対する認識	各取引段階の“価格”の変化

362

各データを入手・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

概要調査
使用データ

- ・農林水産省「野菜生産出荷統計」。
- ・首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ。

アンケート
調査

- ・全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
 - 11,000件を回収・分析を実施した。

追跡調査

- ・首都圏内の小売業へ流通するルート：2ルート。
 - うち1ルートは競合産地産の価格も収集。
- ・福島県内の小売業へ流通するルート：1ルート。
 - このルートにおいても、競合産地産の価格を収集。

※個社が特定できないようにするとともに、実額を非公表とすることを前提に一部事業者から受領

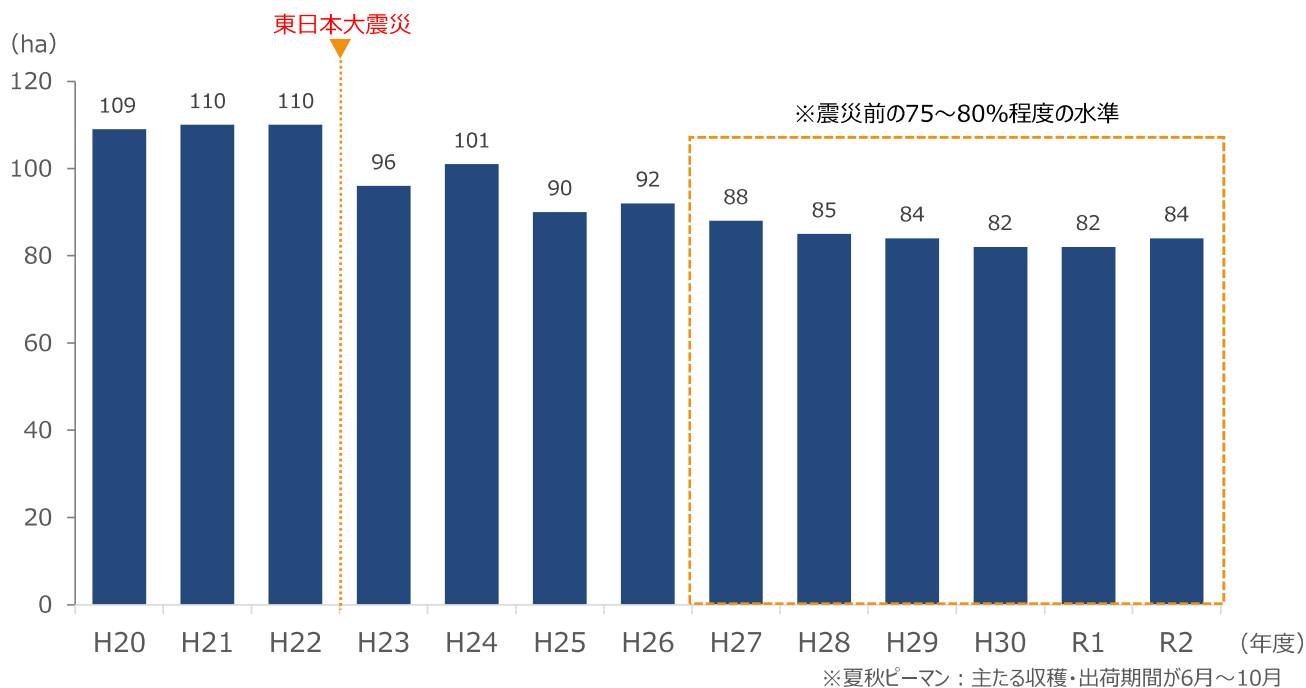
363

3. 各取引段階の“量”の変化

福島県産夏秋ピーマンの作付面積の推移

福島県産夏秋ピーマンの作付面積は、震災直後に約10%減少した。その後一時的に回復した年があったものの、全体的に微減が続いており、現在は震災前の約76%となっている。

福島県産夏秋ピーマンの作付面積の推移

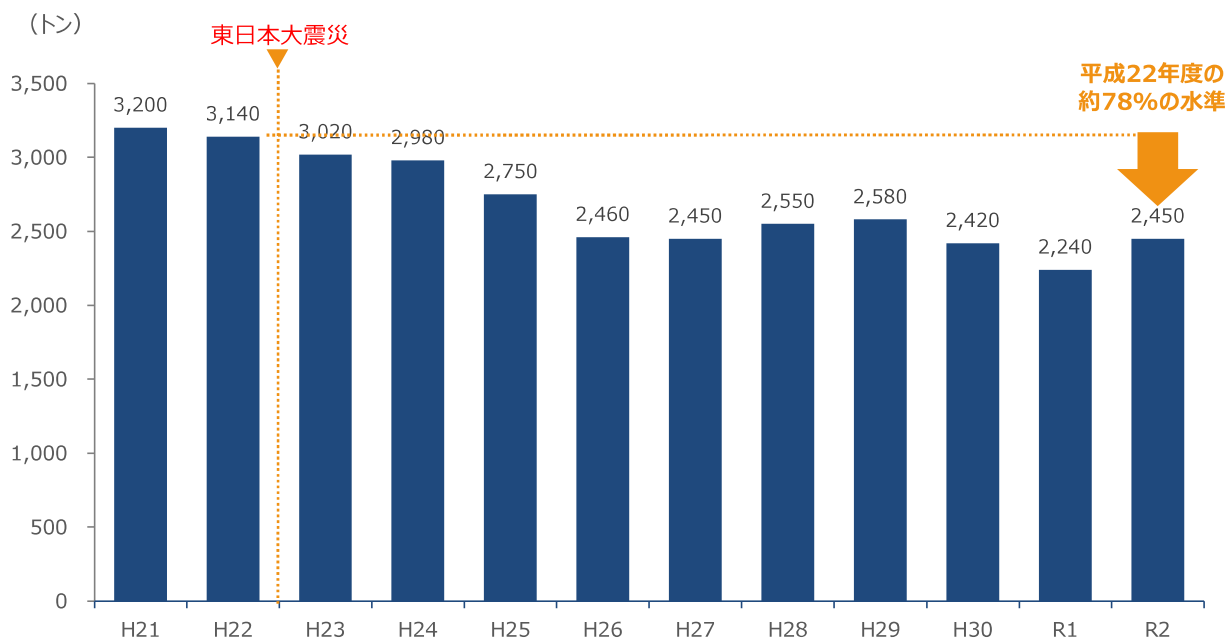


365

福島県産夏秋ピーマンの出荷量の推移

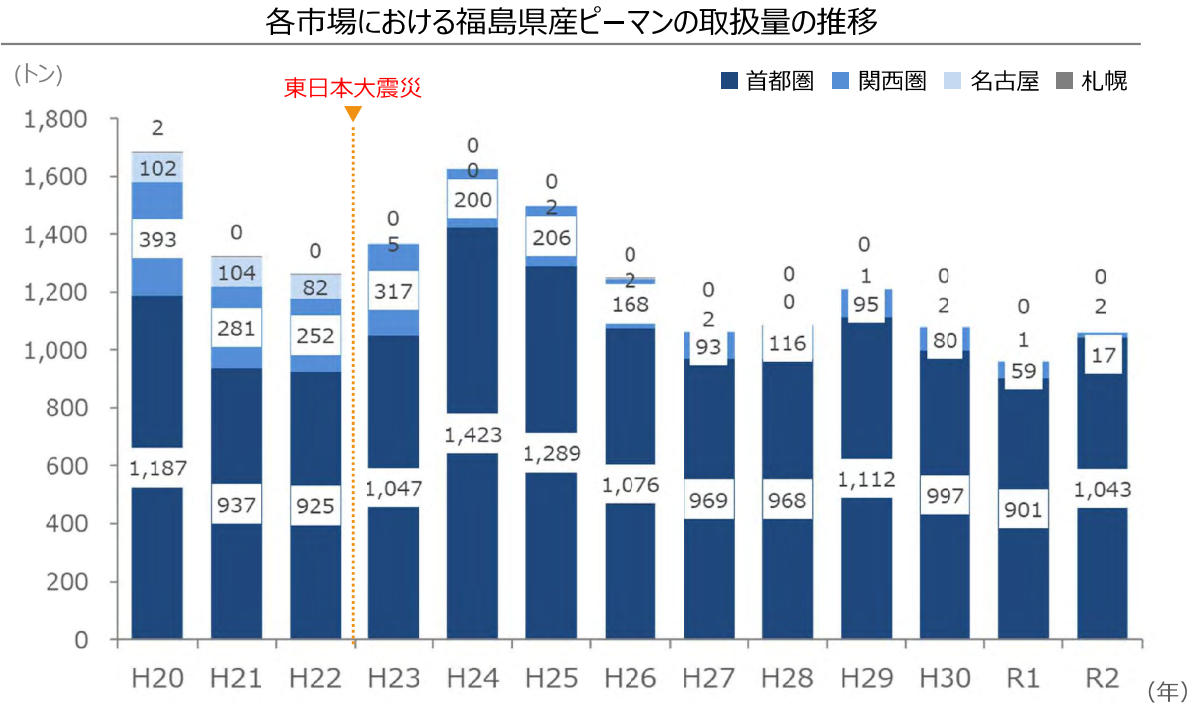
福島県産夏秋ピーマンの出荷量は減少傾向にあったが、平成26年度以降はおおむね横ばいで推移している。令和2年度の出荷量は、平成22年度の約78%であった。

福島県産夏秋ピーマンの出荷量の推移



366

福島県産ピーマンは、主要地域の卸売市場では、主に首都圏で取り扱われており、少量であるが関西圏でも流通している。



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京中央卸売市場、横浜市中心卸売市場のいずれにおいても、7月～10月の期間は他の時期に比べて福島県産ピーマンのシェアが増加。それ以外の月では、福島県産ピーマンの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場														各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	15%	12%	7%	1%	0%	963		
茨城	10%	20%	34%	50%	62%	79%	53%	20%	36%	52%	50%	28%	10,845		
宮崎	52%	44%	35%	26%	19%	7%	4%	1%	0%	4%	24%	41%	4,679		
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	5%	28%	53%	43%	26%	4%	0%	3,655		
高知	22%	22%	20%	15%	12%	7%	1%	1%	1%	4%	13%	18%	2,553		
鹿児島	15%	12%	10%	7%	5%	0%	0%	0%	0%	1%	7%	13%	1,290		
総量	1,348	1,277	2,042	2,399	2,802	2,482	1,970	2,543	2,476	1,898	1,876	1,793			

横浜市中心卸売市場															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	6%	4%	2%	0%	0%	80		
茨城	5%	12%	23%	33%	39%	55%	31%	16%	24%	36%	44%	24%	1,291		
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	7%	32%	55%	49%	34%	4%	0%	821		
高知	40%	40%	34%	26%	24%	17%	2%	1%	1%	6%	25%	24%	779		
鹿児島	34%	30%	31%	27%	23%	1%	0%	0%	0%	1%	11%	28%	609		
韓国	11%	12%	8%	9%	9%	16%	16%	9%	7%	9%	13%	18%	496		
総量	238	228	359	377	469	351	359	542	496	368	350	314			

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ピーマンの取扱いはずかであった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
宮崎	60%	58%	52%	53%	51%	30%	13%	6%	1%	16%	52%	62%	1,765
高知	24%	26%	27%	26%	26%	32%	9%	2%	2%	11%	26%	23%	943
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	23%	46%	42%	31%	1%	0%	802
大分	0%	0%	0%	0%	1%	16%	20%	8%	9%	6%	2%	0%	328
茨城	0%	0%	4%	8%	9%	13%	2%	2%	12%	13%	5%	0%	322
総量	283	246	382	416	525	527	471	747	515	423	381	369	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	0%	0%	0%	13
宮崎	55%	57%	54%	51%	47%	20%	6%	5%	1%	14%	43%	64%	1,172
大分	0%	0%	0%	0%	3%	33%	61%	40%	34%	32%	11%	0%	756
高知	27%	26%	25%	20%	22%	23%	5%	0%	1%	9%	21%	19%	580
茨城	0%	0%	8%	18%	17%	16%	5%	12%	38%	19%	8%	2%	491
韓国	7%	8%	5%	6%	6%	7%	9%	5%	4%	5%	11%	14%	266
総量	190	176	257	334	424	453	354	358	337	283	263	266	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

369

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場は、年間を通して福島県産ピーマンの取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場は年間を通して取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
鹿児島	57%	52%	51%	39%	33%	3%	0%	0%	0%	9%	38%	53%	1,607
宮崎	31%	32%	35%	31%	29%	23%	19%	11%	3%	11%	27%	35%	1,433
茨城	0%	1%	2%	17%	25%	48%	36%	5%	13%	19%	15%	0%	1,007
高知	11%	13%	11%	13%	12%	22%	9%	1%	1%	13%	16%	12%	670
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	20%	41%	39%	23%	3%	0%	614
総量	361	323	486	612	804	615	407	531	493	404	478	450	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	61%	99%	100%	100%	96%	31%	0%	1,116
宮崎	91%	87%	89%	85%	65%	30%	1%	0%	0%	2%	60%	90%	730
高知	9%	13%	10%	10%	18%	3%	0%	0%	0%	0%	6%	8%	91
茨城	0%	0%	1%	5%	17%	7%	0%	0%	0%	2%	2%	0%	48
鹿児島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3
総量	97	86	128	121	128	176	263	304	239	168	144	137	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

370